

学科名	ITスペシャリスト科
コース名	AI・システム専攻
授業科目	サーバーサイドプログラミング1
必選	必
年次	2年次
実施時期	前期
種別	実習
時間数	60
単位数	2
担当教員	煤孫
実務経験	有
実務経験職種	システムエンジニア
授業概要	Webシステムにおけるサーバーサイドのプログラミングを学びます。
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. プログラムの基本3構造(順次、選択、繰返し)に則った簡単なプログラムを作成できる 2. クラスを定義しオブジェクトを生成できること、クラスにメソッドを定義して活用したプログラムを作成できる 3. カプセル化・継承・多態性などを使ったプログラムを作成できる 4. UMLから仕様を読み取りプログラムを作成し実行できるようになる
授業方法	この授業では、開発環境を利用してプログラムの開発方法やデバッグ方法を習得するとともに、教科書を中心としてJavaの基本的な文法を説明した後、簡単な例題プログラムの作成を繰り返しながら授業を進める。適時実施する演習課題に対して、自分なりに考え、手を動かしてプログラムを作成することでプログラミングスキルの定着を図り、オブジェクト指向プログラミングで簡単なプログラムを作成できることを目指す。
成績評価方法	<p>試験・課題 90% 授業内で提示した課題の提出物により評価</p> <p>平常点 10% 積極的な授業参加度、授業態度によって評価</p>
履修上の注意	<p>教科書、ノートパソコン、LANケーブルを必ず持参すること</p> <p>授業中の私語や受講態度には厳しく対応する</p> <p>理由のない遅刻・欠席は認めない</p> <p>授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない</p>
教科書・教材	「スッキリわかるJava入門」中山清喬・国本大悟 著（インプレス）

授業計画	
第1回	環境準備、基礎知識 自分のノートパソコンでJavaのプログラムを作成する
第2回	式と演算子 演算子を使って、変数に対してさまざまな命令を実行する
第3回	条件分岐と繰り返し 順次・分岐・繰り返しの3つの制御構造を組み合わせたプログラムを作成する
第4回	配列 配列を使用したプログラムを作成する
第5回	メソッド 定義したメソッドを使用することができる。オーバーロードを使用する
第6回	複数クラスを用いた開発 クラスを分割し、パッケージに所属させたプログラムを作成する
第7回	オブジェクト指向について ソフトウェアの部品化の考え方、オブジェクトの属性、操作について理解する
第8回	クラスとインスタンス 定義したクラスのインスタンスを生成する
第9回	さまざまなクラス機構 「has-aの関係」で他クラスのオブジェクトを参照するプログラムを作成する
第10回	カプセル化 カプセル化することでフィールド(属性)を保護したプログラムを作成する
第11回	継承 「is-aの原則」で継承したクラスのプログラムを作成する
第12回	高度な継承 抽象クラス、インターフェースを利用したクラスのプログラムを作成する
第13回	多態性 多態性のあるクラスを定義し、活用したプログラムを作成する
第14回	標準クラス 標準クラスを使用したプログラムを作成する
第15回	例外 例外処理を組み込んだプログラムを作成する